

九州大学  
 大型計算機センターニュース  
 No. 413

1990. 3. 20

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
 九州大学大型計算機センター  
 広報教育室(TEL092-641-1101)  
 内線 2505

目 次	
1. 交換回線の変更について .....	1
2. ブロックサイズ標準値の変更について .....	2
3. SASのバッチによるOPR出力機能の変更について .....	3
4. NUMPACのバージョンアップについて .....	4
5. crcプロッタライブラリの公開について (UTS) .....	5
6. 広報・センターニュースの送付について .....	6
7. 平成2年度講習会計画について .....	6
8. TSS初級講習会の開催について .....	7

1. 交換回線の変更について

4月3日(火)から、これまでの学内内線10番(300bpsでMSP接続用)、および学内内線88番(300bpsでUTS接続用)を廃止し、学内内線10番をMSPとUTSいずれにも接続できるPACX回線として運用します。

この番号で接続できるのは、MSP、UTSどちらもモデムの規格がV.21(300bps)、V.22bis(1200/2400bps)でMNPクラスは5までです。

接続方法が従来と異なりますので御注意下さい。MSPまたはUTSへの接続方法は次のとおりです。

・UTSへの接続方法

10番をダイヤリングする

```
CONNECT      ← センターに接続できるとCONNECTと表示される
-            ← ハイフンキーを押す
enter class U ← enter classの問い合わせに対し"U"と応える
class U start
```

kyu-cc

Welcome to FUJITU UTS

login: ← UTSへのログインが可能となる

・ MSPへの接続方法

10番をダイヤリングする

CONNECT ← センターに接続できるとCONNECTと表示される  
← 何も入力せずリターンキーのみ押す

enter class M ← enter classの問い合わせに対し“M”と応える

class M start  
← ブレイクキー（例えばSTOPキ-）を押し、  
続けてリターンキーを押す

JECT005 SYSTEM READY ← MSPへのログオンが可能となる

（第一業務掛 電（内）2517）

## 2. ブロックサイズ標準値の変更について

4月3日（火）から、EDITコマンドやPFDのEDIT機能を用いてデータセットを新規作成するときのブロックサイズの標準値を23440バイトに変更致します。ただし、EDITコマンドにおいてデータセットの内容識別修飾子が“TEX”の場合は、9200バイトです。また、ロードモジュール新規作成時の標準ブロックサイズは、13030バイトに変更致します。この変更に伴い、以下の点に注意してください。

1. ジョブ制御文でデータセットをDD文で連結する場合には、必ずブロックサイズが最大のデータセットを先頭に指定してください。

指定例)

A.FORT77（ブロックサイズ3120バイト）とB.FORT77（ブロックサイズ23440バイト）を連結して指定する場合は、以下のように指定して下さい。

```
// EXEC FORT77,STEP=CLG
//FORT.SYSIN DD DSN=A79999A.B.FORT77,DISP=SHR
//          DD DSN=A79999A.A.FORT77,DISP=SHR
```

2. TSSのALLOCATEコマンドで複数のデータセットを連結する場合には、必ずブロックサイズが最大のデータセットを先頭に指定してください。

指定例)

'QS.COMDPROC'（ブロックサイズ6160バイト）とA.CLIST（ブロックサイズ23440バイト）を連結して指定する場合は、以下のように指定してください。

```
ALLOC F(SYSPROC) DA(A.CLIST 'QS.COMDPROC') SHR REUSE
```

（第一業務掛 電（内）2517）

### 3. SASのバッチによるOPR出力機能の変更について

3月19日(月)からSASのバッチによるOPR出力時の指定方法が以下のように変更になります。

カタログドプロシジャ

#### 1) 入力形式

```
SAS      [, SYSOUT = { O | U | A | H | K | S } ]  
          [, GOUT = 図形ファイル名]  
          [, DISP = { NEW | MOD } ]
```

#### 2) 機能

統計解析システムSASを実行する。

#### 3) 記号パラメタの説明

**SYSOUT** : 出力クラスを指定する。A, O (NLP), H (A4版高速NLP), K (カナ付きNLP), S (英小文字付きNLP), U (オープンNLP)。SAS/GRAPHの出力をさせる時は、Hを指定してはならない。省略値はA。

**GOUT** : SAS/GRAPH図形出力用データセット名を指定。

**DISP** : GOUTで指定したデータセットを初めて確保するときにはNEWを指定。既存の図形ファイルに図形を追加する時はMODを指定。省略値はMOD。

#### 4) プロシジャステップ

SAS

#### 5) 関連するDDD名

SAS. SASLIB ..... FORMATデータセット。省略すると一時データセットが確保される。

SAS. WORK ..... SASデータセット。省略すると一時データセットが確保される。

SAS. SYSIN ..... SASプログラム用(省略不可)。

#### 6) 使用例

- ① SASプログラムを実行し、SAS/GRAPHの出力を新規データセットに確保する。その後、OPRに出力する。

```
//A79999A1 JOB CLASS=A  
// EXEC SAS,GOUT='A79999A.SASOPR.DATA',DISP=NEW  
//SAS.SYSIN DD DSN=A79999A.SASTEST.DATA,DISP=SHR  
//
```

READY

DSPRINT SASOPR.DATA OPR機番 DOC NOH

READY

- ② SASプログラムを実行し、SAS/GRAPHの出力を既存データセットに追加する。その後、OPRに出力する。

```
//A79999AZ JOB CLASS=A  
// EXEC SAS,GOUT='A79999A.SASOPR.DATA',DISP=MOD
```

```
//SAS.SYSIN DD DSN=A79999A.SASTEST.DATA,DISP=SHR
//
```

READY

DSPRINT SASOPR.DATA OPR機番 DOC NOH

READY

(ライブラリ室 電(内) 2508)

#### 4. NUMPACのバージョンアップについて

3月19日(月)から、名古屋大学で開発された数値計算ライブラリNUMPACを最新版であるV11にバージョンアップしています。今回の主な改訂内容は、つぎのとおりです。

##### (1)レベルアップ(改良)されたもの

- ・線型計算関係 LEQLUS/D, CHOLFS/D, MCHLFS/D
- ・ベッセル関数関係 BJN, BKN . . . 他14本
- ・特殊関数関係 DTMFMP, DTMFRM, TMFMP, TMFRM

##### (2)新規登録されたもの

- ・ベッセル関数関係 BJ2, BJ3, BJ4, DJ2, DJ3, DJ4,  
ZBJN, (ZBJn, n=2, 15),  
DZBJN, (DZBJn, n=2, 15) 以上36本

使用手引書については、センター図書室、プログラム相談室で閲覧できるほか、コマンド"MANUAL"で出力することができます。また、本パッケージを使用した成果を公表する際には、使用プログラム名及び作成者について明記する必要がありますので注意して下さい。

(ライブラリ室 電(内) 2508)

## 5. crc プロッタライブラリの公開について (UTS)

3月19日(月)から標記ソフトウェアをUTS上で公開しています。これは、カルコンプ・プロッタ・ライブラリ(ベーシック)と互換性があり、fortran77とc言語から利用できます。ただし、一部のサブルーチンで引数の数や意味が異なるものがあります。また、X軸、Y軸の単位はプロットとなっています。詳細については、lman サブルーチン名で参照してください。

サブルーチン名	axis axisv dline factor laxis line number plot plots scale sline symbol where
---------	--

### 使用例

```
%cat example.f

dimension x(75),y(75),xd(75),yd(75)
call plots(5,0)
call plot(1.5,1.0,-3)
call symbol(0.2,4.1,0.14,"CALCOMP FUNCTIONAL SOFTWARE",0.0)
call symbol(1.3,8.5,0.35,"crc graphic library",0.0)
do 20 i=1,73
y(i)=cos((i-1)*3.14/18.)
x(i)=i-1
yd(i)=cos((i-1)*3.14/36.)
xd(i)=i-1
20 continue
call scale(x,73)
call scale(y,73)
call scale(xd,73)
call scale(yd,73)
call symbol(3.5,-0.5,0.23,"X - AXIS",0.0)
call axis(0.0,4.0,1h,0.8.,x(74),x(75),0)
call axis(0.0,0.0,"Y - AXIS",1,8.,y(74),y(75),0)
call line(xd,yd,73,0,8.0,8.0)
stop
end

%f77 example.f -lG -lm

%.out | plot2ps | lp -dps -ops      ポストスクリプトプリンタに出力
%.out | tplot -T4014              テクトロ画面に出力
```

### 参考文献

荻野 達也, UTSにおけるプロッタライブラリの使い方, 京都大学大型計算機センター広報  
Vol. 23 No. 1, 1990, p. 6

(ライブラリ室 電(内) 2508)

## 6. 広報・センターニュースの送付について

当センターでは、利用者以外の方でも支払責任者番号を持ってあれば、広報・センターニュースを送付していますが、平成2年度（4月1日）より利用者および希望者のみ送付いたします。支払責任者の方々に配付ご希望の方は、共同利用掛までお申し込み下さい。

（共同利用掛 電（内）2515）

## 7. 平成2年度講習会計画について

下記のとおり平成2年度の講習会が計画されていますので、お知らせします。なお、開催日は変更することがありますので、センターニュースにご注意下さい。

### 記

開催日	名称	内容	受講対象者	募集人員
4月19日(木) 20日(金)	TSS初級講習会(1)	TSSを利用したプログラムの編集・実行などの会話型処理の基本の演習	初心者	40
4月26日(木)	FORTRAN 77講習会	FORTRAN77プログラムの実行方法	FORTRAN 77利用経験者	40
5月 8日(火) 9日(水)	TSS初級講習会(2)	TSS初級講習会(1)と同じ	初心者	40
5月15日(火)	VP講習会	ベクトルプロセッサ(VP)の概要、FORTRAN77/VPコンパイラ、プログラムの高速化、チューニングツールの使用法および実習	FORTRAN 77利用経験者	30
5月24日(木)	UTS利用講習会	UTSの元で利用可能な各種ソフトウェアの利用法	UNIX利用経験者	40
5月31日(木)	文献情報検索講習会	文献情報検索システムAIRを用いたINSPEC、JICSTJ、RAMBIOSの各文献データの検索法	初心者	40
6月 5日(火)	昆虫学データベース講習会	テキストデータベース管理システムSIGMAの解説、昆虫データベース(KONCHU)の解説とその利用法	初心者	30
6月15日(金)	SASによる統計解析講習会	統計解析の具体的な手法	SAS利用経験者	30
6月19日(火)	遺伝子・蛋白質データベース GENAS講習会	本年度導入予定の蛋白質立体構造データベースとその応用プログラムの説明	初心者	40
6月29日(金)	S(UTS上の統計パッケージ)講習会	UNIX上のデータ解析とグラフィックスのための対話型環境ソフトウェア「S」の利用法	UNIX利用経験者	30
7月11日(水)	パソコン端末講習会	パソコンを大型計算機の端末として利用する方法及び計算機間のファイル転送の説明	センター利用経験者	40

開催日	名称	内容	受講対象者	募集人員
7月27日(金)	大学間ネットワーク講習会	(1)大学間ネットワークを経由したTSSやRJE、ファイル転送などの利用法、また他センターのデータベースの検索について説明 (2)メールシステムの説明	センター利用経験者	40
8月2日(木)	JTeX入門講習会	日本語TeX(LaTeX,AMSTeX等を含む)の使用法の解説	UTS利用経験者	30
10月9日(火)	GKS85講習会	GKS85の概要とプログラミングの解説や使用法	FORTRAN 77利用経験者	30

## 8. TSS初級講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛(電(内)2505)にお申し込みください。

### 記

- ・日時 4月19日(木)・20日(金) 10時～16時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対象 TSS初心者(これからTSSを利用しようとする人)
- ・募集人員 40名
- ・内容 TSSを利用したプログラム、テキストの編集法及びプログラムの実行など  
会話型処理の基本
- ・会場 大型計算機センター・多目的講習室(3階)
- ・講師 共同利用掛 富山 実, 永芳 春美
- ・テキスト 利用の手引 TSS編(1990年3月)使用
- ・時間割

10:00 12:00 13:30 16:00

1日目

TSSの概要 プログラムの編集	昼 休 み	実 習
--------------------	-------------	--------

10:00 12:00 13:30 16:00

2日目

プログラムの実行 FIBジョブの依頼法	昼 休 み	実 習
------------------------	-------------	--------

- ・申し込み期間 4月5日(木)～11日(水)  
(なお、募集定員に達し次第締め切ります。)